

1・2年生ののべ47名が、夏休みを利用してインターンシップ（職業体験）に参加しました。



働く大人と接し、体験することで、生徒たちは大いに刺激を受けたようです。
生徒の作文を紹介します。

「働くということ」

受け入れ先：瀬戸市役所

私は、7月25日から27日までの3日間、瀬戸市役所 まちづくり協働課へインターンシップに行きました。私がインターンシップとしてこの受け入れ先を選んだ理由は、1年生の時に市役所の方からお話を聞く機会があり、興味を持ち、実際に仕事を体験してみたいと思ったからです。

3日間で体験させていただいた仕事はイベントPR用のチラシのデザインとキャッチコピーづくり、会議への出席、ラジオ番組への出演などでした。

チラシのデザインを考える仕事は、一種類だけではなく、多くのパターンを用意しないといけない。私はデザインを考えるということをあまり経験したことがなく、たくさん種類を作るのは難しかったです。また、作り上げるのに1日かかってしまい、たくさんの知識と経験が必要だと感じました。

会議もまた私にとって経験したことのない事でした。1つのイベントを作り上げるのに大勢の人が協力して何度も会議を開いていることを知りました。さらに、みんなが意見を出し合っただけでより良いものを作り上げようとする情熱やチームワークの大切さを知ることができました。

また、ラジオに出演した時は、この3日間で一番緊張した時間でした。原稿を作るのも、読むのも大変な作業でした。初めてのことばかりで、どのようにしたら伝わりやすいか想像もできず、多くの方に教わりました。ラジオに出演して間違えずにできて、成功したと思えたときは、繰り返し練習してよかったと思いました。また、ラジオを聞いてくださった方に褒めていただいたときはとても嬉しかったです。

私は、インターンシップを通して、市役所という職業のイメージが変わりました。インターンシップの前までは机に向かってパソコンの作業をすることが多いというイメージでしたが、体験後は、町のイベントをPRするためにラジオに出演したり、会議が開かれるなど、市民のために、多種多様な仕事をしていることを知ることができました。そして、インタビューをさせていただいてこの仕事のやりがいは、自分のため、お金のためではなく、'人のため'に働くというところだと感じました。さらに、どんな大変な仕事でも、楽しくできるかどうかは自分次第なのかなと感じました。

この3日間で学んだことは、「相手の気持ちを考える」「自分から考えて行動する」ということです。私は、特に「自分から考えて行動する」ということが苦手なので、これからの生活で意識してできるようにしていきたいと思います。今回の体験はこれからの私にとって、確実にプラスになりました。将来、就職したときにこの経験を活かしていけるように頑張りたいと思います。

「看護体験に参加して」

受け入れ先：陶生病院

私は、小さい頃から人と接する仕事に就きたいと思っていました。その中で、幼稚園の先生という職業に憧れたこともありましたが、高校生になり職業講話で看護師の話聞き、看護師という職業に興味を持ちました。

まず、1日目に手浴と洗髪のお手伝いをさせていただきました。その方は体の自由がきかないので、ベッドで寝たままで洗髪しました。洗髪後、その患者さんに「ありがとう」と言われ、少しでも人の助けになれたかなと思ううれしくなりました。2日目には車いすや松葉杖を用いて体の不自由な人の体験をしました。車いすの操作は難しく、高齢者の方や力のない方には大変だなと思いました。

今回の体験を通して印象的だったことは、どの看護師さんも笑顔が素敵で優しかったことです。患者さんと接するときも、優しく言葉かけをされていて素晴らしいなと思いました。

看護師さんとのお話で印象に残っていることは、2点あります。まず1つめは、高齢で耳

の遠い方との接し方です。本当は目上の方なので、「です」「ます」で話さなければいけないけれど、文章が長くなってしまうと大事なところを聞き取ってもらえないこともあるので、単語を大きな声で言うようにしているということです。確かに、その人その人によって話し方を変えることはとても大切なことだと強く感じました。2 つめは、「看護師はコミュニケーション能力が大事だよ」と言われたことです。看護師が接する相手には、患者さんだけではなくその家族やほかの看護師、医者など、たくさんの方がいます。その人達と情報を交換したりして、患者さんの今の状態を知り、必要な看護につなげることができるので、コミュニケーション能力はとても大事なと感じました。

今回のインターンシップを終えて、今までよりさらに看護師になりたいという気持ちが強くなりました。話し上手はもちろんだけど、聞き上手にもなれるようにコミュニケーション能力を磨いて、誰にでも優しく笑顔で接し、困っている人には必要な手助けができるような看護師になれるように努力していきたいと思います。

瀬戸市消防本部、瀬戸市役所、陶生病院をはじめとする受け入れ事業所の皆様、本当にありがとうございました。